

唐総防第567号

令和5年9月21日

玄海の避難問題を考える連絡会 様

唐津市長 峰 達 郎



「玄海原発事故時の避難先自治体へのアンケート結果に基づく質問・要請書」  
に対する回答について

このことについて、令和5年7月31日付けの「玄海原発事故時の避難先自治体へのアンケート結果に基づく質問・要請書」に対して、別紙のとおり回答  
します。

## **【1】避難元から避難先のマッチングについて**

避難先全市町が「できている」と回答していますが、私たちは、地元住民の人口に対し受入数が多すぎると考えています。2021年4月6日、唐津市と県内の受入先12市町でつくる「唐津市原子力災害時広域避難対策協議会」の会合で、避難先自治体から「最大の避難者数を出して欲しい」と意見が出された事について、佐賀県は「最悪の想定を具体的に示すことは困難」とし、避難先自治体の要望に応じておりません。問題を残したままの避難計画です。

**質問① 唐津市民が一度に避難せざるをえない事態が起きた場合の具体的な対策はありますか。**

(回答)

避難施設に避難者が入り切れない場合は、県が代替施設（学校、ホテル等）を調整し、避難施設として活用することとしています。

また、県内の施設等が不足する場合は、他都道府県と締結している災害時相互応援協定等に基づき、県が避難施設の調整を行います。

**質問② 避難先12自治体と、最悪のシミュレーションについて話し合いはしましたか。**

(回答)

唐津市及び避難先12自治体並びに佐賀県で構成する唐津市原子力災害時広域避難対策協議会にて、広域避難を円滑に行うために、相互の情報交換等を行っています。

## **【2】除染の基準の意味について**

避難元から避難する場合の「避難退域時検査」で除染が必要となる基準は、下記のようになっています。

**質問③ 除染の基準の意味を「知らなかった」自治体が3自治体あります。唐津市は、除染の基準の意味について避難先自治体に伝えていますか。**

(回答)

唐津市からは、除染の基準等については、避難先自治体へ直接伝えていませんが、昨年より佐賀県が避難先自治体に対し、避難退域時検査の意義等を含めた研

修会への参加を呼びかけているものと認識しています。

唐津市としては、唐津市原子力災害時広域避難対策協議会などをおし、これまで以上に関係市町と情報共有等に取り組んでいきます。

**質問④** 除染の基準 40,000cpm は放射線管理区域の 30 倍の被ばくを住民に押し付けるものです。避難する住民と避難先住民の安全を考えれば、基準が緩すぎるのではないですか。また、唐津市はこの基準を容認するのですか。

(回答)

原子力災害時において、市民が迅速な避難を行うための実効的な基準となっています。

また、避難先住民の安全を考えた上で定められた国の基準等に則り、退域時検査や除染等を行うことで、避難先住民の安全、安心につながるよう、訓練等をおし周知を図ります。

### **【3】避難元からの自家用車／バスの「検査」等について**

**質問⑤** タイヤの接地面や屋根は測定しないことになっていますが、これでいいと思いますか？またその理由もお聞かせください。

(回答)

県等が国の定めるマニュアルに則り、検査等を行うものと認識しています。

**質問⑥** 車両の除染はウエットティッシュで拭き取るだけとなっていますが、これでいいと思いますか？またその理由もお聞かせください。

(回答)

県等が国の定めるマニュアルに則り、車両の除染等を行うものと認識しています。

**質問⑦** 今の車輛の検査方法で、避難元、避難先の住民を被ばくから守れると思いますか？またその根拠もお聞かせください。

(回答)

県等が国の定めるマニュアルに則り、退域時検査を実施するものと認識しています。

#### 【4】避難する住民の検査等について

質問⑧ 上記の代表制の方法は、4自治体が「知らなかった」の回答です。唐津市民に代表制の方法を知らせていましたか？この方法で住民を被ばくから守れると思いますか？また、その理由もお聞かせください。

(回答)

唐津市では、佐賀県原子力防災訓練参加者へ知らせています。

また、市内の原子力災害に関する出前講座等で、避難退域時検査場所等の情報提供を実施しています。

国の定めるマニュアルに則り、避難行動が同様の集団のうちの1名に対し、検査が行われるものと認識しています。

質問⑨ アンケートで「住民は全員検査すべき」と3自治体が回答しました。避難先に放射能を持ち込むおそれがあることから、避難先自治体としては当然の意見だと思います。住民を守るためにも「全員検査すべき」と思いませんか？また理由もお聞かせください。

(回答)

県等が国の定めるマニュアルに則り、住民等の検査を実施し、車両の確認検査の結果、車両が物品等の除染の基準を超える場合に、乗員の代表者に対し検査を行い、この代表者がOIL4を超える場合には、乗員の全員に対して検査が行われるものと認識しています。

質問⑩ 避難住民全体に測定値を記入した「通行証」が必要と3自治体が回答しています。測定値を記入した「通行証」を本人に渡すべきと思いませんか？

(回答)

避難退域時検査は、住民等の放射線物質による表面汚染の程度が除染を実施すべき基準を超えるか否かを確認する検査であって被ばく線量を測定するものではなく、基準以下であった場合には検査会場を通過したことを示す通行証を交付し、迅速に避難していただくことが適切であると考えています。

**【5】避難所となる学校や施設に放射能汚染が持ち込まれる可能性があることについて**

質問⑪ 避難先施設に「持ち込むべきではない」と回答が4自治体あります。避難元・避難先の住民の命と健康を守る立場で、避難元自治体として具体的な対策は考えていますか？

(回答)

避難退域時検査と簡易除染により人体に影響が出るレベルの放射能汚染が避難先施設に持ち込まれることがないように、国のマニュアル等に定められた基準に基づき原子力防災訓練に取り組みます。

**【6】検査と除染の基準の内容について、避難所となる学校や施設に伝えているか**

質問⑫ 検査と除染基準の内容について5自治体が「伝えていない」と回答しています。避難元自治体として、避難所となる施設へ説明の場等を持ったことはありますか？あればいつ、どのような形で行われたのですか？なければその理由をお聞かせください。

(回答)

唐津市からは、検査と除染基準の内容については、避難所となる施設へ直接伝えていませんが、昨年より佐賀県が避難先自治体に対し、避難退域時検査の意義等を含めた研修会への参加を呼びかけているものと認識しています。

唐津市としては、唐津市原子力災害時広域避難対策協議会などをおし、これまで以上に関係市町と情報共有等に取り組んでいきます。

**【7】検査の基準について、避難元自治体や県と話し合いはあるか**

質問⑬ 7自治体が「話し合いはない」と回答しています。避難元と避難先の協議が進んでいないのは何故ですか？

(回答)

県が避難先自治体に原子力(防災)について学習する機会を設定されるものと認識しています。

今後、県が設定する避難先自治体の研修会等の機会により協議が進むものと期待します。

## **【8】事前了解の権限が佐賀県と玄海町に限られていることについて**

**質問⑭** 唐津市は立地自治体同様の立場で九州電力に事前了解権を求め締結すべきと思います。この件についての考えをお示してください。

(回答)

事前了解権については、立地自治体に特有のものと考えており、立地自治体ではない唐津市が得ることは、不可能だと認識をしています。

**質問⑮** このアンケート全ての結果を見て、避難先と避難元住民のいのちと健康を守れると確信できますか？理由もお聞かせください。

(回答)

避難計画の考え方については、福島における原子力災害の教訓や国際基準の考え方を踏まえた、国の原子力災害対策指針に基づくものとなっています。

しかし、避難計画の整備には「終わり」や「完璧」はないため、原子力防災訓練による検証を行うことで、常に内容等を見直して実効性の向上に取り組んでいきます。

## **【その他】**

**質問⑯** 避難時、避難元住民が通行証を持たないで逃げる可能性は否定できません。唐津市民が通行証を持たないで避難した場合の対処はありますか？あれば教えてください。

(回答)

通行証を持たずに避難された場合は、最寄りの退域時検査場所へ案内することになります。

避難退域時検査や通行証については、原子力防災訓練等とおし市民へ周知を図っていきたいと考えています。

質問⑰ 昨今大雨の被害は想像を超えたものになっています。山口佐賀県知事は「避難指示は大変難しい。夜などのタイミングによっては避難自体が危ないという事もあり得る。県としても市町に提供する情報の精度を上げたいと語った（2023/7/18GM21 会合にて）。原発避難はこれに加えて放射能から逃げる事がさらに加わる事になります。唐津市として、遅れがなく住民に情報を届けるノウハウは構築されていますか？構築されていれば情報が住民に届くまでの経緯を回答ください。

（回答）

市民への情報伝達としては、エリアメール、情報メール、防災ラジオまた防災無線による屋外放送などで情報発信を行います。

質問⑱ 2015/5/25、大震災発生時などに土砂崩れなどで唐津市内29集落が孤立する恐れがあり、救助ヘリ着陸スペースもない可能性がある、などと報道（毎日新聞）されました。現在の唐津市内の孤立集落の現状を教えてください。

（回答）

質問の市内29箇所の集落には、市の離島等が含まれているものとお聞きしています。

離島については、各島の人口に応じ、陽圧化装置等を備える原子力防護施設を整備し、3日間分の飲料水、食料等を備蓄しています。

また、令和4年4月には離島全島にヘリポートの整備を完了しています。